

TOCHIGI PREFECTURAL
GAKUYUKAN
HIGH SCHOOL



栃木県立学悠館高等学校

SCHOOL GUIDE 2026

- School Mission -

一人一人の意欲や可能性に応える多様な学びを通して、
個性を生かし社会で輝ける人を育てる学校

■ 心豊かに、^{たくま}逞しく、人生を生き抜く力を育む ■

学悠館は、勉強し成長するところである

学校設置 の理念

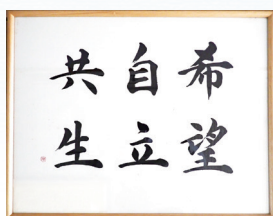
- (1) 意欲ある人がいつでも高校教育を受けられるやり直しのきく学校づくり
- (2) しっかりとした職業観・勤労観をもち、自己の個性を理解し、将来の職業生活を展望できる人材の育成

校訓

古代中国の思想家「荀子」の言葉「学は以て已むべからず。青は之を藍より取りて、藍よりも青く、氷は水之を為して、水よりも寒たし。」に由来しています。
「藍より青し」という格言は、弟子が勉学に励み、先生よりも高い業績をあげることの喩えとして、現代においても広く用いられています。



生徒指標



校章

校訓「出藍」から濃藍をスクールカラーとし、校章は、その青色を基調として構成されています。また、校章全体は本校教育活動を意味し、青色の3段階の濃淡には生徒指標である「希望」「自立」「共生」が表現されています。



栃木県立学悠館高等学校



社会自立に向けて、学校は学ぶところ

校長 日向野 晃

学悠館高校が、この至便な栃木駅前の地に誕生して昨年20年を迎えました。4月28日が創立記念日となります。21年目の今年は、30年に向けた新たな一歩を踏み出す重要な年となります。10年後どんな学校になっていくのか。生徒、教職員、保護者、地域の方々の力を結集して、地域に根ざした学びの中心になれば良いと考えます。

学悠館のスクール・ミッションは、「一人一人の意欲や可能性に応える多様な学びを通して、個性を生かし社会で輝ける人を育てる学校」です。このミッションのもと以下のような生徒の資質・能力を育成します。

- 自分の能力に気づき、主体的・自律的な学びに真摯に取り組む生徒を育てます。
- 多様な価値観を尊重して他者と協働し、共に成長する生徒を育てます。
- 夢や希望を抱いて未来を描き、その実現にチャレンジする生徒を育てます。

テーマを実践する上で二つのことを皆さんに大切にしてほしいと思います。一つ目は「自分を知る」ことです。自分のことは分かっているつもりでも、本当の自分を適切に理解することは一番難しいかもしれません。自分を知ることが全てのもとになります。二つ目は「多様性を大切にすること」です。自分の価値観を大切にすると同時に、相手の価値観も尊重することが大切です。これから生きていく上でとても重要になってきます。

本校は学校創立以来、「学び直しができる学校」として数多くの先輩方が懸命に学んできました。さらに「学び直し」から社会自立に向けて「挑戦できる学校」へと飛躍していきます。皆さんが安全に安心して学べるように学習環境を整えていきます。「学ぶこと」「実行すること」そして「自発的に続けること」が大切です。みなさんが自分から勇気を持って動き出すことを望みます。

本校にはたくさんの仲間（生徒や教職員）がいます。周りの人に勇気を持って声をかけて欲しいと思います。見た目で他人を勝手に決めつけないことです。関わってみなければわからないこともたくさんあります。心の中は見えません。見えないものだからこそ大切にすることがあるのだと思います。

取組に早い、遅いはありません。決意したとき、思いついたときがスタートです。誰にでもチャンスはあります。まずは自分の頭で考えること、そして自分から動き出してみてはどうでしょうか。我々教職員は、皆さんを応援しながら、ともに悩み、苦しみながら歩みを進めて参ります。

「努力は運を支配する。」これは元ラグビー日本代表監督の宿澤広朗さんがよく使われていた言葉です。自分の人生です。生徒の皆さんには自ら主体的に、そして自律的に生きて欲しいと切に願います。学悠館高校は、自ら学び、可能性を広げ、挑戦できる学校です。皆さんの活躍を心から応援しています。

アドミッション・ポリシー

入学者の受入れに関する方針

■ 本校は、次のような生徒の入学を期待しています。

- 本校で学びたいという熱意を持っている生徒
- ルールやマナーを守り、周囲の人々とより良い人間関係を築こうと努力できる生徒
- 将来の夢や希望を持ち、それに向かって努力をする意志のある生徒

自分に合った学習スタイルがここにある

学悠館の特長

■ 一人ひとりの生活スタイルが活かせます。
「学ぶ意欲」や「自己管理」が重要です。

- 毎日通学する定時制と週1日通学する通信制があり、生徒は学習時間帯を選べます。
- 基礎基本から応用発展までさまざまな進路ニーズに対応可能な学習環境があります。
- 2学期制です。【前期＝4月～9月 後期＝10月～3月】
- 制服はありません。学習の場にふさわしい服装で登校します。
- 基本的な「ルール」と「マナー」のもとで快適な学校生活を送ります。
- 広い地域から幅広い年齢層の生徒が通学しています。

■ 単位制高校です。

- 約100科目・360講座の授業の中から、自分の進路に合わせて時間割を作成します。
- 3年以上在学し、74単位以上を修得すると卒業できます。
- 転入学、編入学制度があります。以前に在籍していた高校の修得単位を活かすことができます。
- 学外での活動や学んだこと（留学・大学等での学修など）、各種検定への積極的な取り組みが、単位として認定されます。広い視点に立って、学びに挑戦できます。
- 定時制課程と通信制課程の科目を互いに履修することができます。

フレックス制とは

ライフスタイルに応じて、学校で学習する時間帯を選択できるしくみのことをいいます。学悠館では定時制課程Ⅰ部（午前の部）・Ⅱ部（午後の部）・Ⅲ部（夜間の部）の3部に加え、通信制課程を併設しています。

「単位」とは

勉強した時間の量を示します。週に1時間行われる授業を1年間受講し続け、定期試験に合格した場合「1単位」が与えられます。＊通信制課程の場合は、自宅での課題学習・面接指導・試験の状況で単位が認定されます。

定時制課程のしくみ

日課表

部	時限	日課
Ⅰ部	1	9:00～9:45
	2	9:55～10:40
	SHR	10:45～10:50
	3	10:55～11:40
Ⅱ部	4	11:50～12:35
	昼休み	12:35～13:20
	5	13:20～14:05
	6	14:15～15:00
Ⅲ部	SHR	15:05～15:10
	7	15:15～16:00
	8	16:05～16:50
	給食	16:50～17:20
	SHR	17:25～17:30
	9	17:35～18:20
	10	18:30～19:15
	11	19:25～20:10
	12	20:20～21:05

- Ⅰ部（午前の部）、Ⅱ部（午後の部）、Ⅲ部（夜間の部）のいずれかに所属し、自分の所属する部（自部）を中心に学校生活を送ります。（三部制）
- 月曜日から金曜日まで、毎日登校します。
- 3年間、または4年間での卒業が可能です。3年間での卒業を目指したい場合は、所属する部以外の授業も併せて受講します。

通信制課程のしくみ

- 就労などのさまざまな事情で毎日登校ができない方に高校教育（普通科）を提供する課程です。
- 自宅での自学自習が基本です。登校して受ける面接指導（スクーリング）、自宅で行う報告課題、試験によって学習を進めます。
 - 面接指導
スクーリングとも言います。週に1回、日曜日（火曜日）に参加します。
 - 報告課題
科目ごとに出される課題です。教科書・学習書を用いて作成し、期限までに提出します。
 - 試験
前期試験・後期試験の年に2回の試験を受けます。報告課題・面接指導での達成状況により、受験資格を得ることができます。



毎日の学びの時間を自分で選べる

定時制課程普通科



◆履修と時間割

- ◇多彩な学校設定科目が開設されています。
- ◇1つの時間に複数の教科・科目の講座が同時に設定されています。
- ◇生徒は、各時間で1科目ずつ選び、自分の時間割に組み込んでいきます。
- ◇一度組み上げた時間割は、1年間変わることはありません。
- ◇3年での卒業を希望する場合は、自分が所属する部以外の授業も併せて履修します。
- 各部・各講座ともに、規定の出席時数と試験をクリアしなければ単位を修得することができません。

自部履修

自分の所属する部における履修をいいます。
20コマ 19単位分です。
※ LHR は卒業に必要な活動ですが、単位としてはカウントされません。

他部履修

自分の所属する部以外の部における履修をいいます。
12単位まで履修することができます。

I 部

- 四年制大学・短期大学・専門学校への進学を目指す方に有利な科目配置となっています。
- 4年間で卒業することも可能ですが、例年、I部生徒の多くは3年間で卒業を目指す傾向にあります。
- 国語・数学・英語などの教科では、習熟度別に講座が設けられています。

II 部

- 多彩な分野にわたる教養に触れながらの「自分づくり」を通して、進学・就職など将来の展望を考えたい方に適します。
- 3年間で卒業も4年間で卒業も目指せます。
- 国語・数学・英語などの教科では、習熟度別に講座が設けられています。

III 部

- 半数以上の生徒が4年間で卒業を目指しますが、3年間で卒業することも可能です。
- 基礎レベルの内容から学習をはじめて、就職を目指したい方に適します。
- 始業時間が17時25分からのため、働きながらも通学が可能です。
- ※ III部におきましては、開講講座数の関係で選択できる講座が限定されます。

Ⅰ部	1	9:00～ 12:35	Ⅰ部 時間帯	他部履修
	2			
	SHR			
	3			
Ⅱ部	4	11:50～ 16:00	他部履修	Ⅱ部 時間帯
	5			
	6			
	SHR			
Ⅲ部	7	16:00～ 16:50	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ部の部活動や委員会など	
	8			
	給食			
	SHR			
Ⅲ部	9	16:50～ 21:05	Ⅲ部 時間帯	
	10			
	11			
	12			

◆時間割例（Ⅰ～Ⅲ部）

Ⅰ部 3修 時間割（例） 計90単位

1年次 29単位

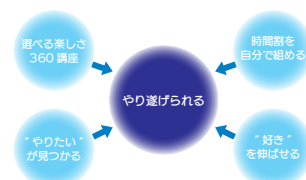
	月	火	水	木	金
1	現国	言文	保健	現国	言文
2	生物基礎	数学Ⅰ	数学Ⅰ	生物基礎	数学Ⅰ
3	体育Ⅰ	英語コミⅠ	英語コミⅠ	体育Ⅰ	英語コミⅠ
4	公共	保健	LHR	公共	総合
5	数学A	化学基礎	化学基礎	数学A	論理・表現Ⅰ
6		論理・表現Ⅰ	音Ⅰ		音Ⅰ
7		歴史総合			歴史総合

2年次 31単位

	月	火	水	木	金
1	英語コミⅡ	英語コミⅡ		英語コミⅡ	英語コミⅡ
2	古典探究	地理総合	古典探究	古典探究	古典探究
3	日本史探究	日本史探究	日本史探究	日本史探究	地理総合
4	数学Ⅱ	数学Ⅱ	LHR	数学Ⅱ	総合
5	論理国語	論理国語	論理国語	論理国語	
6	家庭基礎		体育Ⅱ	家庭基礎	体育Ⅱ
7	論理・表現Ⅱ	倫理	数学Ⅱ	論理・表現Ⅱ	倫理

3年次 30単位

	月	火	水	木	金
1	選択体育	地学基礎	英語コミⅢ	選択体育	地学基礎
2	文学国語	数学B	文学国語	文学国語	文学国語
3	論理・表現Ⅲ	政治経済	政治経済	論理・表現Ⅲ	数学B
4	英語コミⅢ	英語コミⅢ	LHR	英語コミⅢ	総合
5	生物	生物	生物	生物	選択体育
6		数学C	日本文化探究		日本文化探究
7		情報Ⅰ	数学C		情報Ⅰ



Ⅱ部 4修 時間割（例） 計79単位

1年次 21単位

	月	火	水	木	金
1					
2					
3	美術Ⅰ			美術Ⅰ	
4	体育Ⅰ	生物基礎	LHR	体育Ⅰ	総合
5	保健	数学Ⅰ	数学Ⅰ	保健	数学Ⅰ
6	公共	英語コミⅠ	英語コミⅠ	公共	英語コミⅠ
7	現国	言文	生物基礎	現国	言文

2年次 19単位

	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4	実践数学Ⅰ	情報Ⅰ	LHR	実践数学Ⅰ	総合
5	素描	歴史総合	歴史総合	絵画A	漢字入門
6	素描	漢字入門	体育Ⅱ	絵画A	体育Ⅱ
7	家庭基礎	ビジュアルデザイン	情報Ⅰ	家庭基礎	ビジュアルデザイン

3年次 21単位

	月	火	水	木	金
1	絵画B				
2	絵画B				
3					
4	書道Ⅰ	ペン習字	LHR	書道Ⅰ	総合
5	素描	地理総合	地理総合	ことばの世界	フードデザイン
6	素描	フードデザイン	倫理	ことばの世界	倫理
7	科学と人間生活	選択体育	ペン習字	科学と人間生活	選択体育

4年次 18単位

	月	火	水	木	金
1					
2			美術Ⅱ		美術Ⅱ
3					
4	音楽Ⅰ	グローバル探究	LHR	音楽Ⅰ	総合
5	素描	マンガ・イラスト	マンガ・イラスト	絵画A	選択体育
6	素描		テニス	絵画A	テニス
7		ビジュアルデザイン	グローバル探究		ビジュアルデザイン

Ⅲ部 4修 時間割（例） 計76単位

1年次 19単位

	月	火	水	木	金
9	体育Ⅰ	言文	LHR	体育Ⅰ	総合
10	公共	数学Ⅰ	数学Ⅰ	公共	数学Ⅰ
11	保健	英語コミⅠ	英語コミⅠ	保健	英語コミⅠ
12	現国	生物基礎	言文	現国	言文

2年次 19単位

	月	火	水	木	金
9	情報Ⅰ	体育Ⅱ	LHR	情報Ⅰ	総合
10	グローバル探究	音楽Ⅰ	自然科学入門	グローバル探究	音楽Ⅰ
11	家庭基礎	科学と人間生活	自然科学入門	家庭基礎	科学と人間生活
12	論理・表現Ⅰ	歴史総合	体育Ⅱ	論理・表現Ⅰ	歴史総合

3年次 19単位

	月	火	水	木	金
9	高数入門	実践数学	LHR	高数入門	総合
10	文学国語	選択体育	はじめての現代文	文学国語	選択体育
11	地理総合	文学国語	はじめての現代文	地理総合	文学国語
12	政治・経済	ペン習字	実践数学	政治・経済	ペン習字

4年次 19単位

	月	火	水	木	金
9	情報処理	倫理	LHR	情報処理	総合
10	簿記	選択体育	選択体育	簿記	選択体育
11	書道Ⅰ	現代社会研究	簿記	書道Ⅰ	現代社会研究
12	ビジネスコミ	漢字入門	倫理	ビジネスコミ	漢字入門

◆令和7年度設置講座 定時制課程普通科

教科	講座名
国語	現代の国語 / 言語文化 / 論理国語 / 文学国語 / 国語表現 / 古典探究 / 基本国語 / はじめての現代文 / 漢字入門 / 日本文学史 / はじめての古典 / ことばの世界
地歴	地理総合 / 地理探究 / 歴史総合 / 日本史探究 / 世界史探究 / 応用世界史 / 応用日本史 / 教養の歴史
公民	公共 / 倫理 / 政治・経済 / 人物研究 / 現代社会研究
数学	数学Ⅰ / 数学Ⅱ / 数学Ⅲ / 数学A / 数学B / 数学C / 高校数学入門 / 応用数学 / 実践数学Ⅰ / 探究数学
理科	科学と人間生活 / 物理基礎 / 物理 / 化学基礎 / 化学 / 生物基礎 / 生物 / 地学基礎 / 理科入門 / 自然科学入門 / 応用物理 / 応用化学 / 応用生物
保健	体育 / 保健 / トレーニング / テニス / ニューススポーツ
芸術	音楽Ⅰ / 音楽Ⅱ / 美術Ⅰ / 美術Ⅱ / 書道Ⅰ / 書道Ⅱ / マンガ・イラスト / 篆刻・刻字 / ペン習字 / 総合臨書
外国語	英語コミュニケーションⅠ / 英語コミュニケーションⅡ / 英語コミュニケーションⅢ / 論理・表現Ⅰ / 論理・表現Ⅱ / 論理・表現Ⅲ / グローバル探究 / 応用英語
家庭	家庭基礎
情報	情報Ⅰ / 情報Ⅱ
商業	ビジネス基礎 / 簿記 / 情報処理 / ビジネス・コミュニケーション
家庭	保育基礎 / 生活と福祉 / 服飾手芸 / フードデザイン
音楽	声楽 / 器楽 / 世界の音楽 / アンサンブル
美術	素描 / 絵画 / ビジュアルデザイン
英語	エッセイライティングⅠ / 異文化理解
日本語	日本語

特色あふれる学校生活

就学支援

一人ひとりにきめ細かな支援

- 1学級20人の少人数クラス編成
- 充実した個別対応
- 全職員のチームワークによる学校生活支援



個別指導



SHR (ショートホームルーム)



図書室



学習コーナー



ティームティーチング



少人数制授業

学校給食と食育

本校の校舎1階西側に食堂があります。

◇昼間は、定時制課程Ⅰ部（午前の部）・Ⅱ部（午後の部）、通信制課程生徒の学生食堂です。委託業者による校内調理によって営業しています。

◇給食は、定時制課程Ⅲ部（夜間の部）生徒を対象に実施しています。

学校栄養士の管理の下、調理員によって調理された栄養バランスのとれた食事です。

給食の魅力

- 地産地消（栃木県の食材を使用）
- 郷土料理・世界の料理（伝統的な料理や世界の料理）
- 季節の行事食
- リクエスト献立



体験活動

本校では、様々な体験活動を通して生徒の勤労観・職業観を育み、地域や社会の中で将来を担う人材の育成を目指すことを目的とし、開校当時から体験活動の充実を図って参りました。

寺子屋みらい



身体づくり



臨床美術

地域の名人・達人の方々から、多種多様な講話を聞くことで、自らの将来をイメージし、働くことの意義を見出すきっかけづくりとなる活動です。

ふれあいキャンプ



中学生との交流を通して自然に生まれるコミュニケーション力やリーダー性を培う活動です。

インターンシップ



一定期間、仕事の現場等で就業体験をすることにより、自己の職業観や将来について考える機会となります。

体験学習



うづま焼き



間々田組み紐

多くの人や社会、自然等と直接触れあうことで、視野を広げ社会の中で責任を持って生きることを学びます。

ブックトークの集い



心に残った1冊の本について語り合い、本の世界のおもしろさや、奥深さを多くの生徒に伝える集いです。

図書館特別講座



探究のススメ



小論文講座

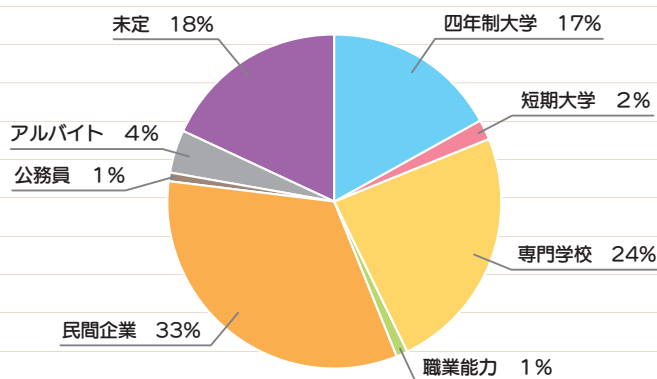
図書館で企画している特別講座です。自分が今まで知らなかった世界に触れ、視野を広げるきっかけをつくり、自分の眠っている才能の発掘、長所をさらに伸ばすことを目的としています。

図書館ボランティア



図書館に関わるさまざまな業務の補助に生徒たちがあたる機会を設けています。

令和6年度卒業生(R7.3月卒業) 定時制 進路状況



	総数	男	女
卒業生徒数	113	57	56
進学			
四年制大学	18	8	10
短期大学	2	2	0
専門学校	27	9	18
職業能力	1	1	0
合 計	48	20	28
就職			
民間企業	38	22	16
公務員	1	1	0
合 計	39	23	16
その他			
アルバイト	5	1	4
未定	21	13	8
合 計	26	14	12

■ 主な進路先

進 学

- ◆四年制大学 東京都立大学 国際医療福祉大学 白鷗大学 埼玉学園大学 城西大学 千葉工業大学 多摩美術大学 東京農業大学 神戸芸術工科大学
- ◆短期大学 國學院大學栃木短期大学 佐野日本短期大学
- ◆専門学校 足利製菓専門学校 足利デザイン・ビューティ専門学校 宇都宮ビジネス電子専門学校 宇都宮メディア・アーツ専門学校 大原学園宇都宮情報 IT クリエイター専門学校 国際テクニカル美容専門学校 大原ビジネス公務員専門学校 国際 TBC 調理・パティシエ専門学校 国際テクニカル調理製菓専門学校 国際テクニカルデザイン・自動車専門学校 栃木介護福祉士専門学校 マロニエ医療福祉専門学校 他

就 職

- ◆民間企業 会永工業(株) (株)大和 (株)山中組 (株)いすゞ自動車 岩下食品(株) (株)エフピコ下館 関東紙管(株) サンライズ(株) 新日本金属(株) 第一石炭(株) タヌマフーズ(株) 帝国繊維(株) (株)デンソーテン (株)栃木乳業 中山製菓(株) 日本ブラパレット(株) ひざつき製菓(株) (株)ブル精密 日立グローバルライフソリューションズ 関東運輸(株) 北関東物流(株) 谷口運送(株) (株)FEC (株)和流通 (株)丸和運輸機関 ヤマト運輸(株) (株)関口海苔店 (株)串の坊 (株)清風 ザ・リッツカールトン日光 特別養護老人ホームみながわ桜園 エコロジーフォース(株) 他
- ◆公務員 自衛隊

(順不同)



キャリアカウンセラーとの打合せ



進路ガイダンス



面接練習会



コースエキスポ

■ 合格体験記

定時制Ⅰ部 卒業生 4修 白鷗大学教育学部発達科学科心理学専攻

私は昔から心理学や社会学に興味があり、自宅から通える範囲で大学進学をしたいと思い、大学を検索していた時、白鷗大学の学業特待入試というものを見つけました。英語は文法やイディオムといった基礎演習をしてから長文問題に取り組みました。国語はとにかく過去問を解き、間違った問題はなぜ間違えたのかを理解して記録をとり、意味を知らない単語は必ず調べて意味を覚えるようにしていました。さらに、私は4年次に進級してから探究部に入部することにしました。探究部は多目的室で勉強することができたり、個別で先生に指導をしていただけたりと、受験勉強に最適な環境が整っている部活です。私は放課後や空き時間などに毎回利用していました。集中して勉強に取り組める場所が学校にあって本当に良かったと思います。

(『令和7年度みらいへの扉』より抜粋)

定時制Ⅲ部 卒業生 4修 株式会社ブル精密

就職を選ぶ皆さんへのアドバイスとしては、まず一番伝えたいのは面接練習をたくさんしようということです。特に私は人とのコミュニケーションが苦手で、日常会話ですら困ってしまう場面がありました。担任の先生や授業でお世話になっている先生方にたくさん面接練習をしていただきました。高校生に求人を出す企業は専門的な技術や知識などは求めているわけではなく、「ちゃんと休まずに通ってくれるか」「本当にこの会社で働きたいか」を私たちに聞きたいのです。そのため、きちんと自分で考えた内容を伝えるのが大切です。これはすぐにできるようなことではないので、たくさん先生方と練習し、自分がその会社で働きたいという意思を伝えられるようにすることが大切です。

(『令和7年度みらいへの扉』より抜粋)

Club Activities 部活動

本校は部活動も盛んです。仲間といっしょに部活に青春をかけ切磋琢磨し、心と体を成長させ絆を深めています。



ソフトテニス部



JRC部



書道部



サッカー部



演劇部



剣道部



写真部



軽音楽部



柔道部



文芸部



陸上競技部



女子バレーボール部

運動部

陸上競技部 男子バスケットボール部 女子バスケットボール部
男子バレーボール部 女子バレーボール部 サッカー部
ソフトテニス部 卓球部 バドミントン部 柔道部 剣道部

文化部

文芸部 合唱部 吹奏楽部 美術部 書道部 写真部 演劇部 手芸部
JRC部 マンガ研究部 自然科学部 軽音楽部 パソコン部
歴史研究部 探究部

全国高等学校定時制通信制体育大会出場（過去2カ年）

陸上競技部 男子バレーボール部 女子バレーボール部
ソフトテニス部 バドミントン部 剣道部 サッカー部
柔道部

学習のための部活動『探究部』

本校には、知的好奇心や探究心の旺盛な生徒を対象に学習会を行う部活動『探究部』があります。

活動は、多目的室を利用して行われる放課後の学習会の他、各科目の先生方による特別講義・個別指導・進路相談・生徒による研究発表会と多岐にわたります。



教育実習生を囲む会

教育相談



チーム援助体制

相談部職員・養護教諭を中心に全員で

3つの相談室を設置

生徒がいつでも気軽に利用できます。

職員が常駐して
相談活動を行います。

スクールカウンセラー による相談体制

毎週火曜日・木曜日、
(通) 月1日曜日

LHR(学級活動)などの 時間を利用した予防開 発的な心理教育の実施

人間関係スキルアップト
レーニング・ストレスコー
ピング など

生徒自己理解調査等の
実施・結果分析・
事後指導

ふれあいキャンプ
(県教育委員会主催)
への参加

関係機関とのスクール ソーシャルワーカーに よる連携

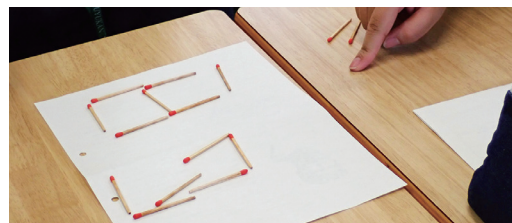
毎週火曜日・木曜日・
金曜日

相談室だよりの発行

3つの相談室



人間関係 スキルアップ トレーニング



スクールカウンセラー



スクールカウンセラー



スクールカウンセラー



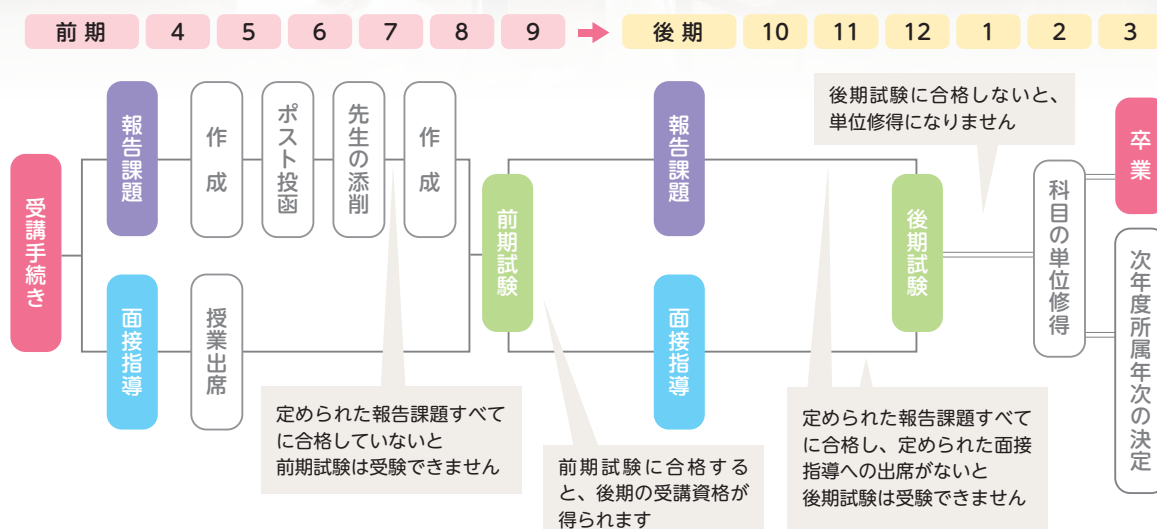
スクールソーシャルワーカー

週1回のスクーリングとレポートで、社会生活と両立しながら学べる

通信制課程普通科



学習の流れ



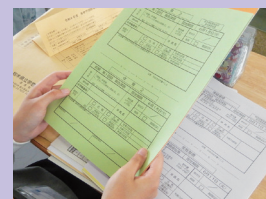
面接指導

- スクーリングともいいます。
- 週に1回、日曜日に実施します。
- 事情がある場合には、火曜日に行う面接指導に出席します。
- 授業形式での科目指導を行います。ここでの内容を踏まえて、後日自宅で報告課題（レポート）を作成します。
- 学校行事・生徒会行事・LHR・清掃活動など校内外の活動も行います。



報告課題

- 履修している各科目から出される課題です。
- 面接指導時のアドバイスをもとに、教科書・学習書を用いて自宅で作成します。
- 課題は、1通あたり約10時間程度の自宅学習量を目安に作られています。
- 指定された期限内に提出します。
- 郵送または学校に持参して提出します。
- 提出された報告課題は、教科担任が添削し、ヒントやアドバイスを書き込んで返送します。50点以上で合格です。



試験

- 前期・後期2回の試験があります。
- 以下の2点を満たしていない場合は試験を受けることができません。
 1. 報告課題（レポート）をすべて提出し、すべて50点以上で合格していること。
 2. 面接指導に所定の回数以上出席していること。
- 前期試験に合格すると、後期の受講資格が得られます。



部活動

運動部

バスケットボール部 バドミントン部 卓球部

文化部

文化活動部 芸術活動部 情報活動部 進路活動部
学び直し部

科目の種類と学習の支援について

科目の種類

下の表は通信制課程で開設している主な科目の一覧です。
これらは大きく3種類に分けられます。

- 必修科目……必ず学習しなければならない科目
- 選択必修科目…指定された科目群から必ず1つ選んで学習する科目
- 選択科目……興味関心にあわせて自由に選択する科目

学習の支援

通信制では、面接指導のほかに学習を支援する3つの取り組みを行っています。

- レポート作成支援日…「報告課題のやり方がわからない」という生徒の疑問や質問に対応する時間です。
- 学びの時間…「高校での学習に不安がある」という生徒のために、基本的な学習内容を学び直す時間です。
- 進路講座…「進学のために学力を高めたい」という生徒のために、必要な学力を身につける時間です。

時間割の一例

*時間割はその日によって
異なります。

7月6日(日)												
年次	R07(1年次)			R06(2年次)・R05(3年次)・R04(4年次)								
区分	S	T	U									
1	数学基礎 205教室	理数探究 基礎 理科教室	英語基礎 207教室	公共 203教室	地理総合 地理公民室	家庭基礎 家庭基礎	生物 生物教室	情報Ⅱ コンピュータ室	政治経済 204教室	地学基礎 物理教室		
2	英語基礎 207教室	数学基礎 205教室	公共 204教室		化学基礎 生物教室	家庭基礎 家庭基礎	論理表現Ⅰ 208教室	古典探究 202教室	物理基礎 物理教室	体育3 アリーナ		
3	生徒会役員選挙 会場：会議室を予定 内容：9月からの新生徒会役員を選出											
4	体育1 アリーナ				英語 コミュニケーションⅠ 203教室	地理総合 地理公民室	音楽Ⅱ(音 楽)Ⅱ(音 楽)Ⅱ(音 楽)	生物 生物教室	地学基礎 物理教室	政治経済 204教室		
昼 休 み												
5	理数探究 基礎 理科教室	公共 204教室	数学基礎 205教室		家庭基礎 家庭基礎	地理総合 地理公民室	英語 コミュニケーションⅠ 203教室	情報Ⅱ コンピュータ室	論理表現Ⅰ 208教室	文学国語 201教室	物理基礎 物理教室	
6	公共 204教室	英語基礎 207教室	理数探究 基礎 理科教室		家庭基礎 家庭基礎	英語 コミュニケーションⅠ 203教室	化学基礎 生物教室	古典探究 202教室	音楽Ⅱ(音 楽)Ⅱ(音 楽)Ⅱ(音 楽)	体育3 アリーナ	文学国語 201教室	
S H R ・ 清 掃												
放 課 後	レポート作成支援・学びの時間 部 活 動 の 時 間											

7月8日(火)												
年次	R07(1年次) S・T・U			R06(2年次) R05(3年次) R04(4年次)								
区分	S	T	U									
1	理数探究 基礎 理科教室				家庭基礎 208教室	論理表現Ⅰ 201教室	文学国語 201教室					
2	公共 203教室				家庭基礎 208教室	生物 生物教室	物理基礎 物理教室					
3	生徒会役員選挙 会場：会議室を予定											
4	英語基礎 207教室				化学基礎 生物教室	音楽Ⅱ(音 楽)Ⅱ(音 楽)Ⅱ(音 楽)	地学基礎 物理教室					
昼 休 み												
5	数学基礎 205教室	公共 203教室	英語 コミュニケーションⅠ 207教室	情報Ⅱ コンピュータ室	体育3 アリーナ							
6	体育1 アリーナ				地理総合 203教室	古典探究 202教室	政治経済 204教室					
S H R ・ 清 掃												
放 課 後	レポート作成支援の時間											

◆設置科目 通信制課程普通科

教 科	科 目
国 語	現代の国語 / 言語文化 / 文学国語 / 国語表現 / 古典探究
地 歴	地理総合 / 地理探究 / 歴史総合 / 日本史探究 / 世界史探究
公 民	公共 / 倫理 / 政治・経済
数 学	数学基礎 / 数学Ⅰ / 数学Ⅱ / 数学A / 数学B
理 科	科学と人間生活 / 物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎 / 生物
保 体	体育 / 保健
芸 術	音楽Ⅰ / 音楽Ⅱ / 美術Ⅰ / 美術Ⅱ / 書道Ⅰ / 書道Ⅱ
外国語	英語基礎 / 英語コミュニケーションⅠ / 英語コミュニケーションⅡ / 論理・表現Ⅰ
家 庭	家庭基礎 / 家庭総合 / 保育基礎 / 生活と福祉
情 報	情報Ⅰ / 情報Ⅱ
理 数	理数探究基礎

令和6年度卒業生(R7.3月卒業) 通信制 進路状況

■ 主な進路先

進 学

- ◆四年制大学 白鷗大学(教育・経営・法) つくば国際大学(医療保健) 埼玉工業大学(工) 千葉工業大学(工) 帝京大学(経済)
東京福祉大学(心理) 文京学院大学(保健医療技術) 目白大学(保健医療) 相模女子大学(人間社会)
- ◆短期大学 國學院大學栃木短期大学 佐野日本大学短期大学
- ◆専門学校 宇都宮アート&スポーツ専門学校 大原簿記情報ビジネス専門学校 国際ティビィシィ小山看護専門学校
国際テクニカル美容専門学校 国際テクニカル理容美容専門学校 晃陽看護栄養専門学校
東京アニメーター学院専門学校 動物園予備校アニマルキープーズカレッジ
パンタングেমアカデミー

就 職

- ◆民間企業 (株)アウスタ 岩下食品(株) ウエルシア薬局(株) (株)改伸工業栃木工場 (株)コメリ
コロラド(株) 小山工場 (株)ショウナン 大三ミート産業(株) (株)デンソーテン小山製作所
東洋ワークセキュリティ(株) 中山産業(株) 真岡工場 ファインテストエンジニアリング(株)
(株)みどりや化粧品店
- ◆公務員 自衛隊

(順不同)



4

5

6

7

8

9



入学式



定通総体



全国定通体育大会壮行会



定通文化発表会

定時制課程普通科



対面式



体育祭



生徒総会

通信制課程普通科



始業式



レクリエーション



クリーン運動

創立 20 周年記念

令和 6 年 4 月学悠館は創立 20 周年を迎えました。卒業生は令和 6 年度末現在 3,805 名を数えます。



校外活動

地域の皆様と学校をつなぐ事業を実施しています。

- 1 授業・施設開放事業
- 2 地域連携事業
- 3 スクールサポーター

10

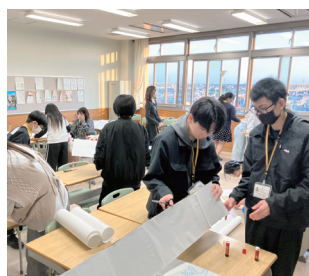
11

12

1

2

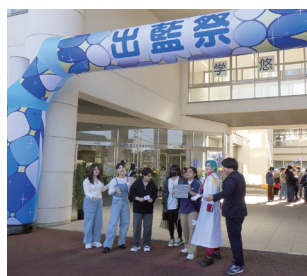
3



出藍祭準備



出藍祭準備



出藍祭



卒業式



校内生活体験発表会



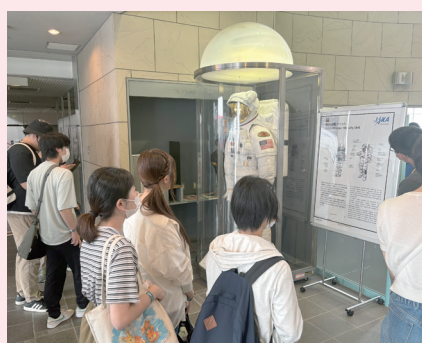
遠足



修業式



生徒会選挙



宿泊体験学習



出藍祭準備

センターの機能



学校説明会

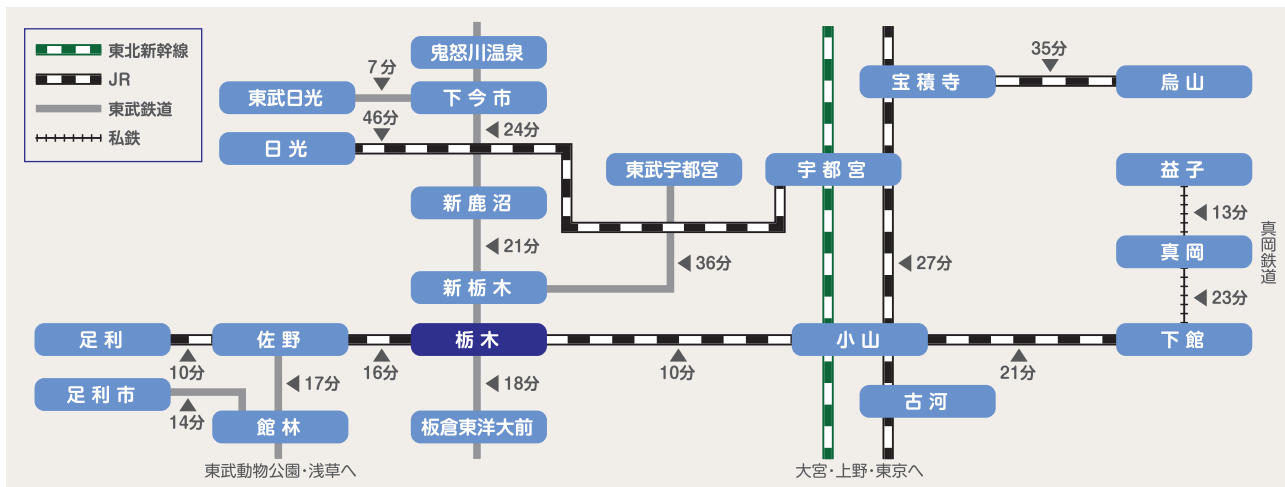
一日体験学習のほかに2回の学校説明会を実施しています。



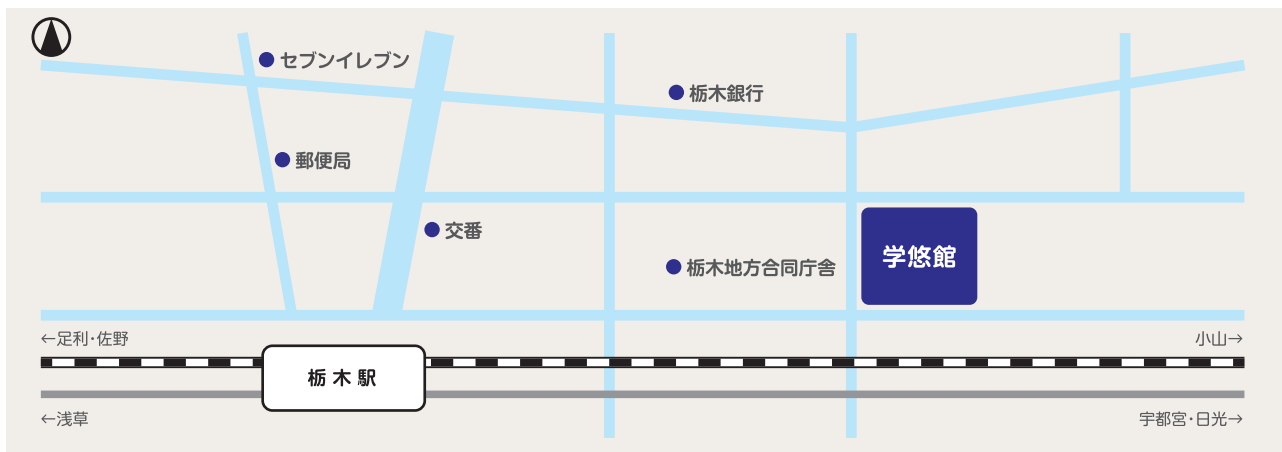
アクセス

◆ 栃木駅までの所要時間

在校生の最寄駅一覧



◆JR 両毛線・東武日光線の栃木駅から徒歩5分



学校説明会

1回目 2025年12月11日(木)

2回目 2026年1月15日(木)

各説明会では、個別相談にも応じます。本資料は、令和7年4月1日現在で作成しています。

お問い合わせはこちらまで



栃木県立学悠館高等学校

328-8558

栃木県栃木市沼和田町2番2号

TEL 0282-20-7073

FAX 0282-24-9299

入試に関する情報はこちらからどうぞ

学悠館公式HP

檢 索

